

氏名

点数 点/100点

各論演習 26-1

問1)

金沢機械の購買部長は、在庫管理のためにX材料の経済的発注量を知る必要が生じ、原価計算部長を訪ねた。

購買部長)

「30個単位で購入できるX材料について、相談にきました。  
X材料の年間予定消費量は、1日当たりの平均消費量が122個、年間の操業日数が250日ですので、30,500個です。そこで、もし30,500個を一度の発注で購入すれば、発注費は1回分で済みますが、沢山の材料をかかえこむため、材料の保管費が高くなります。かといって、1回に1日分の消費量しか発注しなければ、毎日発注する羽目になり、保管費は少なくとも発注費がかさむこととなります。そこで、X材料の年間の発注費と保管費の合計額が最少なくて済む、1回当たり発注量を知りたいのですが…。」

原価計算部長)

「いわゆる、経済的発注量を知りたいですね。承知しました。原価計算担当者に必要資料を集めさせ、計算後、ご報告しましょう。」

：

原価計算担当者) 「原価計算部長、計算に必要と思われるデータを収集してきました。以下、ご覧ください。」

原価計算担当者の収集したデータ

(1)	X材料1個当たりの購入価格(送状記載価格)	4,960円
(2)	X材料1個当たりの引取運賃	665円
(3)	材料倉庫の減価償却費月額	80,000円
(4)	購買部長の給与月額(残業はない。)	40,000円
(5)	X材料発注1回に要する郵便料金	1,000円
(6)	X材料発注1回に要する事務用消耗品費	200円
(7)	X材料発注1回に要する受入材料積下ろし作業賃金支払額 (これは外部業者に支払われ、原価計算上は製造間接費に計上している。)	11,000円
(8)	保管するX材料1個当たりの年間火災保険料	50円
(9)	材料倉庫の電灯料月額	29,000円

原価計算部長)

「データを集めてくれてありがとう。ただ、集めてくれたデータには、計算目的に適切なデータに加えまったく無関係なデータもあるようだね。また、集めてくれたデータにはないけど、この計算ではX材料1個当たりの年間保管費の中には、X材料に対する投資額の8% (年利率) を資本コストとして考慮すべきです。計算もお願いできるかな？」

原価計算担当者)

「はい、お任せください。」

原価計算部長)

「この経済的発注量の計算においては、異常時のために備える安全在庫量や在庫切れの機会損失は考慮外とし、1回当たりの発注費は定額であって、それは発注回数に比例して発生し、また、材料の年間保管費は、材料の平均在庫に比例して発生するものとして計算してくださいね。がんばって！」

原価計算担当者)

「はい、計算し終わりましたら、報告いたします！」

【設問1】

原価計算担当者となって、まずは、①X材料の1回当たりの発注費、および②X材料1個当たりの年間保管費を報告しなさい。

【設問2】

X材料の経済的発注量を原価計算部長に報告しなさい。

解1)

【設問1】

① X材料の1回当たり発注費  円

② X材料の1個当たり年間保管費  円

【設問2】

X材料の経済的発注量  個